

症例報告は  
臨床を、深め、伝え  
未来をつくるための第一歩

# “伝える” がキャリアになる —鍼灸師のための症例報告—

鍼灸師にも「症例報告」が求められる時代。  
日々の臨床から、なぜ記録を残すべきなのか——  
症例報告が“キャリア”につながる理由をお伝えします。

鍼灸師が症例報告を行う意義

1. 臨床を“言語化”し、技術を体系化できる
2. 他職種と知見を共有し、連携を深める
3. エビデンス構築の第一歩
4. “伝える力”が信頼とキャリアにつながる
5. 専門性を可視化し、社会的評価を得る



■ 日時：2025年 9月20日(土)

19:00～20:00

■ 会場：オンライン開催（Zoom予定）

■ 参加費：無料

■ 対象：鍼灸師・鍼灸学生

お問い合わせ

日本東方医学会 事務局

[メール] [zaidan@jptoho.or.jp](mailto:zaidan@jptoho.or.jp)

[電話番号] 03-6264-3015

[公式サイト] <https://www.jptoho.or.jp/>

[お問い合わせ] メールもしくは電話番号からご連絡ください。

参加申込

